

トロント新移住者協会 www.torontonjca.com torontonjca@yahoo.co.jp
TORONTO NEW JAPANESE CANADIAN ASSOCIATION, 6 GARAMOND COURT, TORONTO, ONTARIO, CANADA M3C 1Z5

巻頭言

滝沢ゆうか



昨年11月27日、日系文化会館において、ヒロコ・バラル・ルームの落成式が行われました。さらに、オープンハウスが11月28日～12月5日まで行なわれました。落成式は山下総領事を始め、多くの来賓と参加者を集め、ケーキカットに始まった部屋のお披露目、来賓よりの祝辞、代表者達からの感謝の挨拶など、賑やかかつ盛大な空気の中で、大成功のうちに式典を終える事ができました。

予想以上の多数の列席者に、この部屋に対する期待の念を感じます。

ヒロコ・バラル・ルームが日系文化会館に設立されるに至ったいきさつについて、簡単にご説明しましょう。バラル博子さんから、突然、天からの授かり物ともいえる“ご寄付の話”があった時、日本文化の中心である日系文化会館内に日系人の”集いと憩いの場”を設置するという日系人の長年の夢は、現実のものとなりました。カナダ移住43年目になるバラル博子さんと志を同じくする戦後移住者達の思いが、念願の部屋に賭ける思いをますます膨らませました。完成するまでの日々がどんなに待ちどおしかった事でしょう！

オープンしたばかりの部屋には家具や備品などがまだ十分に揃っていません。が、窓からの陽をいっぱい浴びた明るくて清々し

い、広々とした景観を湛えた皆様の為の部屋です。

頑丈堅固な屋台骨を作って下さった協会初期の頃のパイオニア達(もうすでに故人となられた方もいます)の業績を称え、労苦が報われた事の証を立てたいとの思いも実現しました。

かつて協会の活動に参加された、過去の役員や理事やメンバーの皆様方に、この場を借りまして深く感謝の意を捧げます。皆様方のご尽力がなければ、協会の今日はありえませんでした。

外部団体との協力を惜しまず、日系社会の発展に寄与するという新移住者協会が担う役割の大切さを噛み締めると同時に、この思いが次の世代へ継承されていかなければならないのだという思いに身が引き締まる思いです。

この部屋は移住者社会のもう一つの強力な団体、新企会との合同部屋であるという特徴も持ち合わせています。新企会は事業運営に携わる人々から構成される会で、会内の親睦と交流のみならず、他の諸団体との交流を深め地域社会の発展に大い貢献している団体です。新移住者協会と新企会という2つの移住者社会を代表する組織が共同で取り組み、お互いいい面を吸収し合い、支えあって、成就の確度を増していけば、将来、より重厚な発展をなしとげる事ができ、素晴らしい効果を生み出す力を発揮すると信じています。

さらに、日系文化会館の精神「みんな仲間」の輪を支えていく第一歩がこの日に踏み出された事が、日系社会の歴史に刻み込まれる事でしょう。

東日本大震災 義捐金募集と応援メッセージのご報告とお礼

会長 中山あつ子



トロント新移住者協会では、3月11日に起きた未曾有の大災害、東日本大震災に対し被災者の方々の支援になればと考え義捐金の募集活動を行いました。その結果、個人、学校、県人会、団体などからご寄付をいただき、14,221.69ドルの多額の義捐金を募る事ができました。また、応援メッセージも287通届いており、これは、皆様のご協力、ご賛同の中で、被災地への思いが一つになる事で成し遂げる事ができたのではないかと思います。皆様からお預かり致しました義捐金と応援メッセージは財団法人海外日系人協会にお渡しして被災地へ届けられます。

紙上を持ちまして皆様のご好意に深く感謝申し上げますとともに中間報告とお礼を申し上げます。

尚、義捐金、応援メッセージの募集は8月末まで続けられますが、義捐金についての詳しい事は下記の海外日系人協会のHPをご覧ください。

www.jadesas.or.jp

和気藹々と活躍するヒロコ・バラル・ルーム



活けられた季節の花が窓から入る夏の光を浴びている。「いらっしゃい、皆さん!」と語りかけてくれているようにも思える。落ち着いたムードいっぱいのお部屋・・・それがヒロコバラルルームだ。

毎週水曜日、私はこの部屋に出かけていくのが楽しみ。鍵を開ける瞬間、「我々の部屋がここにある。」と嬉しくなってくる。今日はどんな方がいらっしゃるだろうと待ちながら心がウキウキしてくる。まずは、コーヒーを準備して、お茶用のお湯を沸かして、時にはご飯を炊いておにぎりを作ったり、賑やかにランチをしながら色んな話に花が咲く。何となく家庭的な雰囲気が漂う水曜日のひととき。

皆さん、親睦の場、情報の場として活躍しているヒロコバラルルームにお出掛けになりませんか。場所は、日系文化会館内の二階。ツアーをする気分で奥へ奥へ歩いて行くとたどり着くことができます。私達はいつでもお待ちしております。

* 毎週水曜日 午前10時半から午後4時半まで

* お出掛けの際はお電話かメールでお問い合わせ下さい。

:電話 905-738-4281(中山)

:eメール yuka_cosmic@yahoo.co.jp (滝沢)



ホフマン さえこ

去る3月11日、東日本を巨大な地震と津波が襲いました。ニュースやインターネットを通じて、次々と伝わる信じられない光景や状況に、頭の中は「絶望」という二文字しか浮かび上がりませんでした。震災直後は、災害の悲惨さ、被災した人々のことを思う度に、ただ涙を流していました。主人と相談し、自分たちに何ができるのか考え始めました。私たちは印刷業を営んでおりますので、印刷したTシャツを募金運動に有効に使えるのではないかと思います。

震災直後から、募金活動されている方々に、私達が仕上げたTシャツの無料配布を続けていました。被災地へ少しでも多くの義援金を送りたいという思いもありましたが、何よりも「絶望」たる現状から、どうにかして前に進むためのメッセージを発信したかったからです。日本人だけではなく、ここカナダに住む人達に、少しでも多くの方にメッセージが伝わってくれたらと思いました。Tシャツのデザインは、「希望」という文字の後ろに、日本国旗の赤丸を日の出のように上るというイメージで加えました。絶望的な惨禍から、共に支え合いを向いて進んで行きたいという思いからでした。今日一日をより善い一日に、今日よりも昨日よりもっとより善い一日に、真摯な「希望」を持ち続けることによって、人と社会は進歩し成長できるのではないかと思います。今回の被災地もまた、人々が明日への「希望」を持ち続けるかぎり、草木が再生するように必ず蘇り、より善い明日を実現できると信じています。

無料配布したTシャツは、企業や団体、そして個人の方々の御協力によって、募金活動の一環に利用して頂きました。継続的に活動するために、有料での配布にはなりませんが、それでも店頭や学校などでの販売、そしてイベントなどでの募金活動に利用して頂きました。中には、一度もお会いしたこともない方々ばかりでしたので、多少不安でもありました。しかし、募金活動を忠実にされている方々を拝見し、いつしか私自身の心の支えにもなっていました。

被災地には被災された多くの方々、復興の現場で支援に挺身する方々の、この惨禍を乗り越えようとするひたむきな姿があります。また今回の活動に御協力頂いている方々も、忙しい毎日を送られている中、日本復興支援のために募金活動を懸命に務める姿があります。この双方の真摯な姿に、私自身、人間の「生きる力」への感動と信頼を新たに実感しました。

未だ原発問題も含め復興には、たくさんの難題を抱えている状態ではありますが、「明るい元気な生活」が少しでも実現できますように、人々が支え合い、「希望」を持ち続けて頂きたいと願う次第であります。



長く寒いトロントの冬がやっと終わりハイパークの桜も華やかに咲いたと思ったらすぐ散って、待望?の道路工事がやってきた。誰が言いだしたのかは知らないが「トロントには冬と道路工事の2つの季節しかない」といわれている。知らない人のために補足すると、トロントには雪かき車の走り回る冬と冬の間に傷んだ道路を修理する工事がそこら中である2つの季節しかない、道路工事が終わると冬が来ている、どちらも車の運転手には頭痛の種ということである。

それと同意したわけではなからうが、長年働き慣れて来た仕事場の敷地内に病院と犯罪捜査研究所を建てることになり、ふきのとうが芽を出し始めた早春に敷地内にはニョキニョキと竹の子のごとく生えてきたのはクレーン。研究所を建てる場所(既存の駐車場)は早々と堀に囲まれ、係りが駐車はもっと遠くへ行けと指示する。この2ヶ月ばかりは工事のスピードも速くなったようで、病院が建つべきところにあった古い事務所は見る型もなく取り壊され、60年近く地所を囲っていた木々もすべて切り倒され、緑の芝生もあまり残っていない。



春先に訪れてくるギースの群れに「今年はどこで子育てするんだろう、可愛そうに」などと同情をしていたのが遥かかなたに駐車を強いられ事務所のドアにたどり着くまでに10分も歩かなければならない今はギースに同情どころではなく、こんな羽目に陥れた政府を毎朝毎晩ののしっている。(何も遮るものが無くなって見晴らしが良くなった今、オンタリオ州はトロント市街から20分ぐらいの所にこんな広大な土地を何年も良く遊ばせていたんだと思い知らされている)

今年の秋には我々もこの事務所を空け渡さなくてはならない。すでに古い建物内では大移動が始まっていて同じ敷地内の新しい建物に移る人たちは主に運輸省関係者である。我々といえばこの建物を間借りしているという立場なので体よく追い出されてしまうわけだ。いくらオンタリオ州の政策とはいえ、何年前までこの敷地内で自動車運転免許の運転試験をやったり、免許更新などもやっていたのに、チビチビと切り売りされて運転試験場はタウンハウスとコンドミニウムになっているし免許更新も扱っていない。30年も働いてオンタリオ政府を中から見てると一体これから政府はどこに行くんだろうと疑問を持つ。大会社、政府だけの特権のようであったIBMの巨大コンピューターはもう化石のような存在になってしまい、そのコンピューターを操作し仕事をしていた連中も化石の一部になり、いわゆるパソコン、中型コンピューター、ネットワークの知識がないと職がなくなってしまった。最近雇われてコンピューター部門に配属されてくる若い人達は「メインフレーム(大型コンピューターを意味する)」という言葉さえ知らない。そんな事信じられない半化石人間を若者はこれまた信じられないのである。

我々は追い出されたあとグエルフに最新のコンピューター・センターが完成しているのでそちらに移動することになっている。通勤片道1時間。とにかくやってみるしかない悲慘な覚悟せざるをえない。多分1年も経たないうちに、病院も研究所も完成し、駐車場は有料になり、新しい道もできて見違えるようになるだろう。いまの事務所だって自分の物ではあるはずはないのだが、近い将来これが壊されてまったく新しい建物が建つと思うとなんかさびしい。

「外国語」としてみた日本語



日本語教育プロジェクト 浜場真喜子

2010年度トロント移住者協会、日本語プロジェクト主催の第4回講演会が日修学院で3月26日(土)9時30分から11時30分まで行われました。

今回はヨーク大学助教授の矢吹ソウ典子氏をお迎えして「外国語」として見た日本語—英語環境で学ぶ学習者に日本語はどうとらえられているか—について講演していただきました。

* 英語と比較した場合—
発音、文字、表記、文法、語彙プラグマティクスなどに分けてお話いただきました。

文字、表記では

- ・ 日本語は「上から下へ 時計まわり」、英語は「下から上 逆時計まわり」
- ・ 日本語は仮名(表音文字)・漢字(表意文字)交じり、英語はアルファベット(表音文字)のみ。
- ・ 「○」と「✓」の使い方

実際に矢吹先生が指導されている学生さんたちの例を取り上げてユーモアたっぷりにお話いただきました。採点するときに「✓」ではなく「○」を書くと「これは『○(まる)』ですか『○(ゼロ)』ですか?」と、確認に来る生徒さんもお話されると、静かだった会場が一瞬のうちに和やかな雰囲気になり自然と先生のお話に引き込まれていきました。子供たちが二重まる、三重まると催促するのわかったような気がし、大人も子供も同じだと納得し、これからはプリントいっぱい大きく「○」を書いてあげようと自分自身に言い聞かせました。

また、学習者を「褒める」ことも大切だということもお話いただき、特に、子供相手に日本語教育に携わっている者にとってはいかに大切かと改めて実感いたしました。褒めることはとても大切だが褒めすぎてもいけない、線引きの難しい問題であることもわかりました。

指導者として、また、実際お子様を日本語学校に通わされている保護者としての立場からも貴重なご意見を伺い、このようなお話は現場に立つ教師はもとより、保護者の方々には是非聞いてもらいたいと思いました。

子供の日本語教育は、(日本語教育だけではなく、スポーツなども同じだと思います。)子供、保護者、指導者が共に真剣勝負で向かい合い、そこに信頼関係が生まれた時はじめて素晴らしい教育ができると常日頃思っていました。矢吹先生のお話を伺い、今まで以上に強い気持ちで思うようになりました。

講演後に行われた日修学院見学は、今まで他校を見学する機会がなかった私たち教師にとっては大変参考になりました。素晴らしい日修学院さんの授業風景に驚くばかりでした。このような機会を与えてくださった日修学院さんに感謝いたします。

アンケートの中に教師も保護者の方にもとても参考になり大いに考えさせられるコメントを戴きました。

- * 子供と一緒に宿題をし、日本語を話せる親は日本語で会話をして、家庭で日本語を使用する機会を多くしてほしい(家庭に期待)。
- * 基本的な日本語の指導をきちんと行い、高いレベルを目指してほしい。また、子供が日本語に興味を持つような指導をしてほしい。(日本語学校に期待)

これらの意見をしっかり受け止め、日本語教育に携わっていきたいと思いました。講演終了後なんとなく幸福な満ち足りた気持ちで日修学院を後にいたしました。

日本語研修に参加して



日加学園 山田聖矢

JICAは何?

JICAは国際協力機構です。JICAから送られたたくさんのボランティアがいろんな国へ行って、薬作り、算数、生きるための大切な工夫などを教えるところです。その協力とは、日系人を集めて何かを完成させ、この世界をもっと平和にすることが含まれています。今、世界では戦争、ウイルス、貧困などいろんな問題を抱えています。

生徒研修で経験したことや思ったことを発表します。生徒研修の期間は一ヶ月でした。日本語の勉強、生活、歴史などを学びました。勉強ばかりではありませんでした。他の研修生(22名いました)と話をしたり、友だちになっていろんなことを学んで完成するプログラムです。

着いた日は授業はありませんでした。先生の目的は遊びや楽しい会話を通じて、メキシコ、ベネズエラ、カナダ、コロンビア、ドミニカ共和国から来た研修生と友だちになることだったのです。

私は初めて秋葉原に行きました。秋葉原は大きい電気製品を売る大きいエリアです。いろんな不思議な物を見ました。カメラのついたボールペンなどもありました。JICA 横浜センターの近くにモールがありました。モールの名前は「WORLDPORTERS」です。私たちはそこを散歩したり、食事をしたり、いろんなことをしました。ミーティングも毎日ありました。

そろばんの使い方、和紙作り、川下り、山登り、中学体験入学、自然エネルギー学校体験、資源化プラント見学、ホームステイなど多くのことを経験しました。

自然エネルギー学校体験では、ソーラーパネルを作ってそれがどう働くのか勉強しました。資源化プラント見学では、生ごみでガソリンを作るのを見ました。世界でこのようなことが出来るのはほかにないのですごく勉強になりました。

私にとって一番忘れられない事は中学体験入学です。僕は、富士見中学の一年生に体験入学いたしました。クラブ活動はバレーボールにはいりました。授業では国語が難しかったです。4日間でしたが、たくさんの友だちと一緒に授業を受けていい経験になりました。

この研修でさまざまなことを学びました。日本の文化、歴史などを楽しくグループで体験して日本語も使ったので、私自身、今までより日本語が上手になったと思います。この体験が将来の仕事に役に立つと信じています。

一緒に研修した友だちとは今でも連絡し合っています。メール交換をして日本での楽しかった話などをしています。

この経験は自分には一生忘れられない経験だと思っています。この機会を与えてくれた日加学園に感謝の気持ちでいっぱいです。みなさんもぜひ挑戦してほしいと思います。

OPEN: 10a.m. TO 7p.m. (SUN: 11a.m. TO 6p.m.) CLOSED: TUESDAY
730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL. 416.703.4550 FAX. 416.703.8593

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
http://www.toronto-sanko.com

日本食品
みそ・しょうゆ各種
新鮮野菜
冷凍魚各種
スキヤキ肉
数の子昆布
いくら・とびこ
塩麴切身
冷凍えだ豆
和菓子各種
オーガニック緑茶

さくら米
炊飯器
和食うつわ多様
新刊雑誌・古本
MAXELL/パナソニック
ペンチペン
テレホンカード
ビデオレンタル
元気の源 元気ドリンク
他 たくさん!!

日本送りのギフトあります

書籍は航空便で直輸入
定期購読受付中!

おにぎり
お弁当 (週末のみ) あります

活気のある人求む
土日働ける方募集中!

みついし商店・サンダウンマーケット

日本送り用ギフト承っております **日本食品**
ビデオレンタル・雑貨

<p>● スカーボロ店</p> <p>日・火・水 10:00~18:00 木・金 10:00~19:00 土 9:00~18:00 日 定休日</p> <p>4385 Sheppard Avenue E., Pearl Plaza内, Unit 15, Scarborough, ON, M1S 1T9 (Brimley & Sheppard) ☎ (416) 496-9083 / FAX (416) 496-9084</p>	<p>サンダース ベリー 自然化粧品 取扱店</p>	<p>● エトビコー店</p> <p>日・火・水 10:00~18:00 木・金 10:00~19:00 土 9:00~18:00 日 定休日</p> <p>826 Browns Line, Etobicoke Ontario M8W 3W9 (Evans Ave. & Browns Line) ☎ (416) 251-7900 / (416) 259-8260</p>
--	--	--

僕の五感で体験した日本文化

日加学園 福本 献



今回 JICA 研修で僕の体験した中から印象に残った事柄を報告を兼ねて、発表します。

JICA 研修期間は、この夏の 6 月 16 日から 7 月 14 日までの約一ヶ月でした。僕は、去年 JICA 研修に受かりましたが、新型インフルエンザのせいで昨年の研修は中止になり、今年やっと思うことができました。待ち遠しかったで

す。

今回研修に参加したメンバーはカナダ以外に、メキシコ、ベネズエラ、ドミニカ共和国などからの 22 名でした。僕は、今までこれらの国々に日系人がいることさえも知りませんでした。この研修で、彼らととてもいい友達になり、これらの国々に親しみを感じました。唯一の問題だったのは、日本語のレベルの差が激しく、それに加え、母国語の違いもあってコミュニケーションをとること自体が困難だったことです。コミュニケーションは身振り手振りの程度からはじめる以外術はありませんでした。なので、「友達になった」ではなく、「やっと思う友達になれた」と言った方がぴったりです。また今回は、男子が全体の半数にも満たない 8 人でした。とは言え、それはそれでまとまりやすく、色んなことを一緒にやれました。ヨドバシカメラへ行ったり、百円ショップに行ったり、他にも、部屋でゲームやチェスをしたり、映画を見たり、あと結構馬鹿な事をしたり、男同士仲良くなれました。奴らとの一ヶ月は忘れることの出来ない楽しい時間でした。

この研修には大きく分けて 4 種類の活動がありました。JICA 主催の授業、中学体験入学、ホームステイ、そして研修旅行です。

JICA 主催の授業では、移住者の歴史、国語、算盤、体育、美術・工芸、音楽、社会、家庭科など色々学びました。沢山あり過ぎてすべてをお話できませんが、特に印象的だったことをお話します。

まず 6 月 21 日に、「海外移住資料館」に見学に行きました。そこで、初めて知ったのですが、日本人の移住の歴史は、江戸時代後期にさかのぼり、しかも現在のパスポートのような書類が存在していたのです。とても興味深かったのは、その当時写真はないので、写真の代わりに、顔の特徴を言葉で記入していました。例えば、目細、鼻長など墨で書かれ、印が押されていました。

日本人の一番最初の移住先がカナダの西部海岸、現バンクーバー付近だったと知って、日本とカナダの長いつながりに驚きました。

もう一つ驚いたのは、資料館の中の壁の日本地図に移住者数を表すディスプレイがあって、それによると移住者が一番多いのは、広島県で他県を大きくリードしていました。なぜ広島県なのかは分かりませんが、僕なりに、もしかしたら原爆のせいではないかと推測しています。

社会の授業では、横浜市歴史博物館へ行きました。そこでは日本の建物の歴史やそれぞれの時代の日本文化について学んだり、遺跡公園などを散策し、竪穴式住居の再現を見ることも出来ました。博物館全体を通して、ディスプレイや、展示物の解説文、ガイドの説明どれをとっても、とても分かりやすく良かったです。僕が感心したのは、それらが子供にも分かるくらい分かりやすく展示する工夫がしてあるところ。特に古墳時代の首飾りとして使われた勾玉を実際に作る体験では、楽しみながら古代を身近に感じられます。

7 月 3 日から皆で研修旅行に行きました。行ったのは埼玉県秩父あたりです。ここではバイオガス技術による生ごみ資源化事業の見学や自然エネルギー学校、和紙の紙漉きなどを体験しました。

3 日の夜はホームステイ先の桜井さん宅にもう一人の研修生と一泊しました。桜井さんの家は外見からすると、古いし、敷地がほとんど植物に覆われていて、「お化け屋敷」と間違えるほどでしたが、中に入ると見るごく普通の田舎家でした。しかし、実はこの家は、環境保護を追求した「スーパーエコの家」でした。例えば、トイレは雨水をホースでスプレーして流します。手洗いの水も雨水でした。殺虫は殺虫剤を使わず、ラケットのような形の電動蠅たたきでやりました。僕達もそれを使って「オリャー! 剣の錆びではなく、ラケットの錆にしてやるぞ!」と虫退治に協力しました。それから食べ物はほとんど自給自足で、買った食品は地域で作ったものでした。この桜井さんだけじゃなく、村全体も同じように自給自足で生活してるのです。新しいエコハウスを建てるのではなく、すでにある使えるものを無駄にせず、古い家屋にエコ技術を導入している桜井さんご夫妻のアイデアに感心しました。また彼を中心に、太陽電池を手軽に手作りする装置を開発して、発展途上国を支援したりもしていて、この地域の人々は面白い人たちです。

太陽電池作成と紙漉きを体験した後、ナチュラルファームシティー農園

ホテルに泊まりました。このホテルもある程度自給自足していました。微生物農法で無農薬の畑で採れたものを食べました。出す料理のスタイルによってメニューの様式が異なっていました。例えば、和食のときは和紙に墨で書いたようなお品書きで、洋食のときは横書きで洋風のデザインでした。さすが「気配りの日本だ!」と思いました。

次の日に入川渓谷ウォーキングに行きました。僕たち先頭グループの気付かないうちに、途中で後のみんなははぐれてしまっていました。僕達は先に滝に到着したけれど、僕は自分の弁当をはぐれた一団の人に預けていたため、食べることが出来ませんでした。結局後のみんなを待たずにバスに戻ったら、例の一団がすでに乗っていました。それで僕は 2 時過ぎにやっと思う弁当を食べることが出来ました。こういうアクシデントも友達の絆を深めてくれました。

ホテルに戻ったころにはもう足が筋肉痛になっていました。先生の助言もあって、始めて温泉に入りました。なんだか大きいホットタブみたいでした。熱かったですが、ものすごく気持ち良かったです。おかげさまで出たころにはもう筋肉は今まで以上の回復状態でした。温泉は最高でした。今度は露天風呂に入りたいです。

長瀬ライン下りの時、二組に別れて船に乗りました。この日は川の流れがちょうど良かったらしくて、あまり揺れませんでした。それでも水しぶきはかかったりしました。途中で色々な面白い形をした岩を紹介してくれたり、楽しい水遊びの経験が出来ました。

僕は、秩父神社あたりの商店街で木刀を買いました。後で、どうやってカナダに持って帰るかが問題になりました。成田空港で取り上げられないかと心配でした。外泊の時に叔母たちに相談してキャンプ用のポールバッグを買って、それに入れて無事家まで持って帰ることが出来ました。木刀は僕の一番お気に入りの土産です。

7 月 8 日、JICA の美術・工芸の授業では組み木のコースターを作りました。この時、カナダの工具と日本のはすごく違うと実感しました。日本の鋸は両刃、カナダは片刃、日本のは引いて切るのに、カナダのは押して切るのです。そのため、持ち手の着け方も違います。カナダのは手首の動きを固定されてしましますが、日本のは手首を動かしやすい形です。鉋も日本のは四角い箱型で、水平面を安定して作りやすいです。カナダのは刃の角度を調節しやすいし、持ち手がついてるので握りやすいですが、水平かどうかは作業中にそのつど確認する必要があります。道具にも文化の違いが出ることに考えさせられました。

国際協力の授業では JICA の働きや発展途上国への援助についての説明を受けました。グループごとに量の違うジュースを、それぞれグループ内で如何に公平に分配出来るかを考えるゲームを通して、世界の経済格差の実情を実感させられました。世界経済の不公平な状態は知っていましたが、JICA の活動意義が分かって、これからも JICA に頑張ってもらいたいと思いました。

僕がこの研修でやりたかったことの一つは、日本文化の根っこのようなものに触れるということです。JICA やホテルの部屋にはテレビがあり、僕は時々日本の番組を見て、日本人の生活や考え方に触れることが出来ました。ちょうど研修のころは参議院の選挙でしたから、日本人の政治に関する様々な考えを知ることが出来ました。また外泊の時には、叔母たちの協力で能や歌舞伎も見ることが出来ました。

これらの機会や出会いで、僕は日本の文化と他の国々の文化に触れることが出来ました。そして僕はこの知識を活かしていきたいと思っています。今はまだそれを社会に示すような働きが出来る年齢ではありませんが、今執筆中の小説の題材にしたいとは思っています。こうすれば少なくともこの経験が小説の中に刻まれると思います。

この日本研修を実施して下さった日本とカナダの JICA の方々及び関係者の方々に深く感謝をさげたいと思います。またこの研修で出会った各国の日系人の友達に人生に御運と再会を願います。

ダイヤモンド、カラーストーン、
各種パール、カスタムデザイン、
リモデリング、修理

SEIKO Noritake SEAGULL PEWTER



Kobo Jewellery

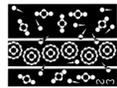
6 Garamond Court, Suite 245, Toronto M3C 1Z5

(日系文化会館2階)

Tel : 416-384-0008 Fax : 416-384-0013

kobojewellery@bellnet.ca

原子力の仕組みと考察



三浦信義

原子力は、中性子がウラン 235 原子核に衝突し、原子核が分裂する時に発するエネルギーを使う。核分裂はさらに中性子を吐き出し、核分裂の連鎖反応を促す。中性子の速度は通常早すぎて核分裂を起こさないため、中性子減速材として水とか黒鉛を使う。これが原子力の原理である。西側諸国の原子力発電所の原子炉は大きく分けて沸騰型(BWR)と加圧型(PWR)に別れる。カナダ独自の原子炉(CANDU)はPWRに属する。

沸騰型は主にジェネラル・エレクトリック(GE)社が開発した。ウラン燃料棒の核分裂の熱から水を直接沸騰させ、その水蒸気で発電タービンを回す。構造が簡単で建設費が低い。原子炉内の水が沸騰してしまっても中性子が早すぎて自然に核分裂が止まるという安全性もある。ただし発電タービンを回す水蒸気は放射性である。日本の多くの原子力発電所は沸騰型である。

加圧型は主にウエスティング・ハウス(WH)社が開発した。原子炉に圧力をかけ、水が高温(300 度程度)になっても沸騰しない。その高温高压の水を熱交換器を通して別の水循環系統を加熱して水蒸気を作り発電タービンを回す。高压を支える為に原子炉容器は堅固なものが必要だ。熱交換器や 2 次水循環系統の余計な設備が必要となる。ただし放射性は原子炉と熱交換器の一部だけに限られるという安全性がある。カナダ独自の原子炉(CANDU)はPWRであるが、巨大堅固な容器の代わりに 400 本から 500 本の直径 15cm ほどの長い筒型の「原子炉」から成り立っている。製造上特殊な技術が必要としない。筒型容器にかかる圧力も低い。運転中に燃料交換が出来る長所もある。

BWRもPWRも濃縮ウラン燃料と通常の水(軽水)を使う。CANDUは天然ウラン燃料と重水を使う。重水の水素原子は陽子に加え中性子をすでに一つ含んでおり、中性子を吸収しにくい。従って飛び回る中性子を十分に活用出来、ウランを濃縮する必要がない。天然ウラン燃料は使用前は手に持つことが出来る。ウラン 1 グラムは石油 2000 リットル、石炭 3 トンのエネルギーに相当する。

福島第一(6 基、1970 年代)・第二(4 基、1980 年代)原子力発電所はすべてBWRである。福島第一原子力発電所の地震・津波による破壊過程はいくつかの段階に分かれる。(以下は推測を含む)。

運転中だった 1-3 号機は M9 の地震に、制御棒が作動し、核分裂は止まり、自動停止した。非常発電が始動し熱い燃料棒の冷却が順調に始まった。約 45 分後に津波が到来、非常発電が失われた。燃料棒の温度が運転中に出来た副産物(アイソトープ)の自然崩壊熱で上昇、やがて原子炉内の水が沸騰し始めた。原子炉内の水位も下がり始めた。(配管のどこかに亀裂が出来た?)。水蒸気による原子炉内の圧力を下げる為、安全弁を開放、セシウム 137 (半減期 30 年)やヨウ素 131 (半減期 8 日)のアイソトープや水素などを含む放射性水蒸気が建物内に放出された。(この事故全体を通して半減期 7 億年のウラン燃料は外部に全く出ていない。また CANDU ではこの場合放射性水蒸気は外部へ出ない構造になっている)。建物の天井に溜まった水素が酸素と接触し水素爆発が起こり、建物を次々と破壊した。(原子炉容器ではない)。

一方使用済みの燃料棒貯蔵槽の冷却も非常発電停止と共に止まった。自然崩壊熱で水槽の水が蒸発、一部が露出し始めた。維持の為に運転停止中で、熱い燃料棒が貯蔵してあった 4 号機貯蔵槽が一番問題になった。消防車やヘリコプターからの放水でこれを冷やした。

1-3 号機原子炉内の冷却はうまく行かず、ついに海水の注入に踏み切った。(4-6 号機は運転停止中でこの問題はなし)。しかしながらそれまでに燃料棒の金属ケースが溶け(2000 度程度)、中の燃料(融点は 3000 度程度)が崩れて原子炉容器の底に溜まったと思われる(メルトダウン)。ちなみにこの状態では中性子は早すぎて核分裂は起こらない。この大量注水と使用済み燃料棒貯蔵槽からの漏れが海に流れた放射性汚水の源と想像しているが定かでない。放射性配管が発電タービンまで延々と続く BWR の弱点が関係しているように思う。

4 月上旬に福島第一への電力が復旧した。これを書いている 5 月下旬の時点で冷却努力は功を奏しており、温度問題は収束へ向かっていると思える。問題は大量に増えつつある放射性汚水の処理をどうするかに移っている。それと平行して発電所周辺の放射線汚染に対する対策が進んでいる。

福島第一は津波の壊滅的な打撃を受けた。福島第二は安全に停止した。第一では非常発電設備が通常の建物の中にあった。第二では堅固な原子炉建物の中にあった。なぜ第一も第二と同じ非常発電設備防護処置をしなかったか。起こってから言える「なぜ」要素である。

事故が起こって初めて欠陥があることに気がつくことは良くある。航空機の安全性の歴史を見ればそれは明らかである。その努力は今も続く。2009 年、ブラジルからパリへ向かったエアバス自慢の A330 が南大西洋上で消息を絶った。安全追求の努力は 2 年後の今年 5 月、南大西洋の 3900 メートルの深海についてブラックボックスを発見、引き上げた。このしつこいまでの原因追求が航空機の安全性につながっている。今回の原子力発電所の事故はすでに多くの教訓をもたらしている。世界中の原子力技術者が技術と安全の見直しを始めている。新しいもっと安全な形式の原子炉の開発も進んでいる。

僕は CANDU 炉の核の維持と検査をする機器の開発・設計をして来た。原子力が万全なものとは思っていない。火をもて遊べば不注意から火傷をする。人間が作るものに完全なものはない。原子力、航空機、自動車、電車。それらを限りなく安全なものにすることがそれらを作り出した者の義務と責任であろう。

産業革命の石炭が主役の座を降り、蒸気機関車が消えていったように、原子力に代わる安定したエネルギー供給源が現れれば、原子力は消える運命にある。現在原子力に代わる地球温暖化に寄与しない技術がない。風力発電も太陽熱発電も膨大な電力を要求する現代社会を支える発電容量と安定性に欠ける。例えば原子炉 4 基のダーリントン原子力発電所は発電容量が 3200MW ある。巨大な風力発電塔 1 基は 2MW 程度である。原子炉 4 基置き換えるのに風力発電塔 1600 基が必要となる。これらをどこへ建設するか、送電線はどうするか。しかもこの発電容量は 24 時間 100%稼働しての話である。風がなければゼロである。太陽熱発電も他のグリーン発電源も似たような問題を持つ。

現在の最良の方策は原子力を基盤としグリーン発電源を最大に生かすことだろう。発電だけに頼るのではなく、電力消費を減らす努力も重要だろう。現在日本国内で広がっている電力節減努力が長期的・世界的な電力消費削減、原子力の必要性への軽減につながって欲しいと思う。

デリバリーご注文うけたまわります

◆ 寿司、刺し身、自家製スモークサーモン、定食類、麺類、丼物、種類豊富な一品料理を御用意しております。
◆ 御家族連れ用童部屋有り。各種テイクアウト致します。
個人～団体様用パーティールームもございます。

ランチタイム 火～金 11:30～2:30
ディナー 火～木・日 5:00～10:00
金・土 5:00～10:30
月曜定休日

日曜も営業!!

■ 当店ホームページ mikadorestaurant.ca を御覧下さい ■

MIKADO

LICENSED

114 LAIRD DR. LEASIDE

駐車場完備

TEL/FAX: 416-421-6016

寿司・割烹

みかど

オーナーシェフ 梶田佳一

1978年創業

LEXUS TOYOTA SCION HYUNDAI

— ドンバレー・ノース —

DON VALLEY NORTH AUTOMOTIVE INC.

新車・中古車・一般修理
板金/塗装・リース

お車のことなら何でも、日本語でお気軽にご相談ください。

- Don Valley North Toyota Scion www.dvtoyota.com
3300 Steeles Ave. E., Markham 905-475-0722 支那
- Markville Toyota Scion www.markvilletoyota.com
5362 Hwy. #7, Markham 905-294-8100 田中
- Don Valley North Lexus www.dvlexus.com
3120 Steeles Ave. E., Markham 905-475-1625 横山
- Lexus of Richmond Hill www.lexusrh.com
1155 Yonge St., Richmond Hill 905-882-8912 坂本
- Don Valley North Hyundai www.dvohyundai.com
7537 Woodbine Ave., Markham 905-513-6878 横山
- Collision Repair Centre
391 John St., Thornhill 905-886-0434 山口

カナダの最南端？

石原牧子



そう、カナダにも最南端と呼ばれるところがあるのです。カナダと言えばただ横にただっ広いばかりで、岬のような風情のあるものを考えると見あたりません。カナダの南はアメリカだし。その長い国境線の何処にそんなところがあるのか疑問に思われるのもごもっとも。それも我々の住むオンタリオにあるなんて。北緯約41.5度にあつて五大湖のうち一番南にある芋型の湖、Lake Erie (エリー湖)の西側に浮かぶ島、Pelee Island (ピーリー・アイランド)がそれです。北海道の最南端と同じ緯度にあるため寒いだろうと思いがちですが、バンクーバーより800キロ南の位置にあると聞けば暖かいような気もするでしょう。ちなみに私達家族が行ったのは9月半ばでトロントではコートを着始めたころ。暑くてTシャツを買わざるを得ませんでした。

正確に言うとピーリー・アイランドではなく、その南にある無人島、Middle Island (ミドル・アイランド)がカナダの最南端なのですが、野鳥保護地区になっているためリサーチャーなど、特別の許可を持っている人のみ上陸ができます。だから、一般人が足を踏み入れることが出来る場所としてのカナダの最南端はピーリー・アイランドになっています。野鳥はピーリー・アイランドでも見ることができるので双眼鏡を持っていくと楽しさ2倍になること請け合いです。

さて、かねてからのうちの旦那さんのご要望にこたえ、娘が日本から一時帰国したのを機にカナダの最南端に出かけることになりました。特にバードウォッチングの趣味があるわけでもないのですが、私達はとかく知らない土地に行くと、近くに岸壁とか灯台があればその一番先まで行ってみたいと気がすみません。ギリギリの人生をやっているから“端っこ”まで行ってみたいという習性が旅行にも出るのかもしれませんが。

春夏は Leamington (リーミントン)から、秋は Kingsville (キングスヴィル)から朝9時と10時にフェリーが出航。所要時間は約1時間半。日帰りなら島の帰りは午後4時と8時発の2便です。秋は夕方6時が最終便。料金は片道大人一人\$7.5ですが、車の場合は一台\$16.50。エリー湖の南側、アメリカの Sandusky (サングスキー)にも季節によってはフェリーが毎日一往復しています。料金は約2倍。冬はフェリーが運航しないので飛行機を予約しないと行けないユニークなところで

島全体は1万エーカーという半日あれば車で巡れる大きさです。車なしの旅行者は島に着いたところで自転車をレンタルすると便利。B&B によっては自転車をフリーで貸してくれるところもあります。景色はといえば、周りが湖だからでしょうか、大木は見当たりません。畑以外はオーガニック林続きの風景か、ワイナリーのブドウ畑が続きます。私にとっては水鳥が見える岩浜や素足で歩ける長い砂浜が一番のお気に入り。東湖岸と西湖岸を往復するのも島の真ん中を横切って走れば効率的。土地の起伏は殆どないので自転車でも走りやすいか忍耐力が必要かのどちらかです。そして信号が何処にも見当たらないというのが魅力。サングスキーから自家用ボートでくるアメリカ人釣客も多く、私達が見つけた3軒のレストランのうちの一軒はアメリカの団体常連客でごった返していました。観光客は我々だけだったからなのか、カナダの土地でありながらよその国の離れ島に来たような気がしました。



夏には戯れるであろうビーチ客を除けばこの島を訪れるのはこういった釣客や10月のフェザント・ハンティング(雉獵)客です。ハンティング・シーズン中は、木曜と金曜を利用した3週間だけ獵が可能になります。この島のフェザント・ハンティングは北米でも有名で、セレブが何人も訪れたといわれます。個人的な興味はありませんが、ハーバー首相もここで獵をしたといわれたことを記しておきます。ももとは、雉の人口が大幅に増えてしまったことに始まったハンティングもいまはこの島の一大観光商品です。野鳥は保護されていても、雉はここでは保護に値しないでしょう。現在はフェザントファームがあるくらいでハンティング期には大量に放つのもかもしれません。ハンティングをするには200ドルのライセンス料を払う必要があります。規定が色々あり、学校から1キロ以内は射撃してはいけない(学校らしき建物には気づきませんが)、雉は飛んでいるものしか撃ってはいけない、ハンティング期間以外は銃は使わない、許可がない限り作物畑に入るといけない、等々。

5月に始まる4ヶ月間の夏季シーズンは水泳客で盛り上がりそうです。ビーチのアクセスはあちこちにあり。駐車禁止のサインなど記憶にありません。西のビーチでピクニックをしている間、秋の陽射しをあびて水に漂うかもめの群れだけが静かな同伴者でした。景色の良いところに泊りたいと思えば東側のB&Bを予約しましたが、結局車で走ってみて北側のほうが便がよさそうな感じがしました。どのB&Bも建物はレトロっぽく、シーズンオフだと週末以外営業してなかったりもするので必ず調べてから行くことをお勧め。私達が水曜日に泊まったところもオーナーが本土から私達のために戻ってきました。

泳ぐわけでもなく、魚釣りをするわけでもなく、はたまた銃を手にするわけでもない私達3人はドライブとピクニックの後、2時に始まる島唯一のワイナリーの無料ワインツアーに参加しました。カナダのワインでピーリー・ワインというのはナイアガラ産のワインと同じくらい良く知られています。島の気候はワインブドウを育てるのに適し、スペイン、イタリア、フランスのワインベルトに入っています。ワインベルトがこんな北にあるのかと再認識しました。ちなみに日本のブドウの産地と

IKEBATA
NURSERY SCHOOL
TORONTO CANADA

オンタリオ州認可保育園
TEL: 416-510-1441
トロント日系文化会館内
www.ikebatanursery.com

日本語&英語プログラム

- ・18カ月～6歳前後(年齢別クラス)
- ・プログラム時間: 8:30am～4:00pm (時間外保育: 7:45am～6:00pm)
- ・日本とカナダの経験豊富な幼児教育資格保持者による指導
- ・少人数グループでの日本語・英語レッスン時間あり
- ・毎月の行事やお料理保育、遠足、発表会など豊富なプログラム内容
- ・給食、おやつ込み ・兄弟・姉妹割引あり



ボランティアスタッフ募集中

詳細は当ホームページをご覧ください

新鮮さ味一番!!



オーシャンフードの練り製品をどうぞ!

- ◎かまぼこ ◎てんぷら ◎さつま揚げ ◎シューマイ
- ◎竹輪 ◎はんぺん ◎その他練り製品

日本食品店でお試しください

Ocean Food CO. LTD.

Since 1980

SEAFOOD MANUFACTURER
3 TURBINA AVE, TORONTO, ONT. M1V 5G3
www.oceanfood.ca TEL.(416) 285-6487 FAX.(416) 285-4012



して有名な甲府は北緯約 35.5 度ですからブドウの種類も違うのでしょう。アイスワインはもちろんそんな温かい土地では無理ですね。バラの苗がブドウ苗の列のそばに植えられている理由も初めて知りました。バラは害虫に弱いので、バラをみてブドウの危機を知る、というロジックだそうです。5 種類のワインでアルコール漬けになった後は、寝るまでにたっぷり時間があつたので閉館間際の博物館にはいり、ローカル色豊かな陳列品を楽しみました。でも島の一番生きた情報はスタッフとおしゃべりしたときに出てくるものです。博物館のあとは向かい側のフェリー・ドックでその日最後の船が本土に向かって出港するのを眺めながらカナダの最南端沖に沈む夕陽を 3 人で独り占め、と相成りました。陽が沈んだあと、満月に近い月の光のなかでスマートなブルーヘロンが二羽、薄暗い浅瀬を私達の目前でソロソロりと“歩いて”おりました。

博物館のスタッフによると、四季を通して住んでいる島の住民は現在 150 人ほどということ。だからそれ以外の住人というのは本土に別の住处を持ち、避暑とか必要ときだけ島に戻ってくるか、長期滞在の訪問客ということになります。島の人口が減るのも理解できます。まず病院がありません。クリニックの電話番号が地図に書いてありますが所在地は不明。きっと本土からすっ飛んで来てくれるのかもしれませんが、私はフェリーで島に渡る前にドラッグストアでアレルギーの薬を買いましたが、正解でした。島にはドラッグストアはなく、島の北側にある Scudder Dock (スカダー・ドック) に小さな Co-op があり、そこに食料品や日常必需品がある程度置いてある、という話でしたが、私達が通ったのは夕方です。すでに閉まっていた。スカダーは夏は個人のボートや自治体のボートでにぎわいそうな港です。レストランもこのあたりにあります。ここからみる夕陽も美しく、私達はフェリー・ドックとスカダー・ドックの両方の眺めをハンゴで欲張りしました。

この島にいる間、アルゴンキンへキャンピングに行った若い頃のことを思い出していました。必要なものをすべて持ってテントでカナダの自然を体験した好奇心の塊であった頃。ピーリー・アイランドはそんな粗野で冒険心をそそるような感じがしそうな場所です。ただ、夏でも涼しいアルゴンキンとは違い、“ここ最南端は四方八方澄み切った水で囲まれ、キラキラ光る太陽の中でアイスワインの甘いブドウが実り、野鳥が飛び交う楽園地”…と言い切りたいところ。そういう印象をもっと強く打ち出したいと私が思うのはシーズンオフで旅行者があまりいなかったからだけではないようです。どこも高齢化した社会でピーリー・アイランドもその影響を避けることが出来ず、観光や避暑地メンテがますます困難になってきている現状があるからです。For Sale のサインもよく視野に入ってきました。でも自然が資源のカナダを基本に考えれば、この小さな島もアルゴンキンも同じ。一定の地区だけ国立公園として国が整備し、四季を通して訪れやすい自然の楽園にしてくれることを期待したい、と思うのは“遊び”を軸にギリギリに生きている人間の観点に立って考えているからに他なりません。

カナダ移住 40年

鳥塚昌子



私がカナダへ移民した理由は 1964年、モントリオール万博の日本館の庭園造りに参加した夫が、カナダに魅了されて移民したのが原因です。すでに自営業を営み、結婚して子供も居りました。「何でまた日本に住む所も、仕事もあるのに異国へなど行くのか」と、義母は嘆き私に止めてくれと頼まれました。私だって言葉も出来ない異国へ小さな子供連れて移民だなんて…と思いません。思い立ったら一筋な夫は周りの思惑など関係なく、移民の申請をして 1970年、33歳で来加、私も半年遅の4月に、一年卒業の長女と次男3歳の子供連れてトロント空港に着きました。草原の中の小さな空港に着いた時は、こんな田舎へ来てしまった…と、一言の英語も話せず二人の子供連れて不安な気持ちになりました。

でもトロントでスタートした生活は、大家さん家族を初め、日系人の人々の親切で直ぐ不安も無くなりました。

小学2年生で疎開先の鉢形村で終戦を迎へ、9人兄弟の中で育つた私は雑草の様に少し位の事には動じない強さもありました。教育も受けて無いので挨拶の英語も出来ない代わりに、にこにこ笑顔で誤魔化してきました。そんな母親を持つて娘は半年で英語にも慣れグレイド二を終わり、私の通訳に成ってくれました。

しばらく慣れるまで日系人のお店を手伝い、英語も覚えないうちに料理の好きだった私と、英語も商売も得意だった友達と共同で「スーパードシチュウ」と言うメキシカンフードのレストランを始めました。今思うとずぶの素人がと…そして半年後には日本料理では初めての「さくら」と言うテイクアウトの小さな店を始めたのです。私は家庭で作る日本食の料理だけ、友達が営業面、10年があつたと言う間に過ぎました。友達が退職するので韓国人に商売を売りました。そして私は更に9年間その店で働く事にしました。英語を話せないまま…。劣等感に苛まれながら五十も終わりに成ってしまったのです。



そんな私に夫はトロントの家を売って自分の店をやってみたら…とってくれたのです。夫は田舎の家に一人で暮らすから、資金が無くなり赤字になったら田舎で暮らせば良いと、背を押してくれました。59歳で出店しようと言う私に「おばちゃん、そんなお金があつたら銀行へ入れてテレビでも見てる方がお金を無くさないで済むよ」と忠告してくれた人も居りました。でもこのチャンス逃したら残世わずかしか無いのにと、飛び込みました。沢山の良友、山の様な夫に支えられて「東京グリル」の出店でした。嬉しくて無我夢中で働きました。友達が皆自分の店の様に頑張ってくれました。お客様も良い方ばかりで、またお客様を連れて来て下さいました。毎日毎日が感謝でした。素人の私があんな事が出来たのは、お友達とお客様と、夫、子供達の支えがあったからです。夫の甥にゆずり渡してから働きの68歳で退職しました。金銭的には利益も上げませんでしたが、赤字にも成りませんでした。でも何よりの収穫は「私でも遣れば出来る」と言う自信です。

夫はあまりお金の拘らないので、相変わらず金銭には縁の無い生活ですが、好きな陶芸、花作り、ゴルフ、マージャン、と友達に囲まれ、私も仲間に入れて頂き良い老後を過ごさせて戴いて居ります。医療費は無料、年金は月々振り込まれ安心して暮らせるカナダに感謝一杯です。

カナダへ移民して40年あと10年生きて居られるか解りませんが、私達もカナダ移住半世紀に出席したいですね。

笑鞠の街 J-TOWN Japanese Shopping Centre 日本の物なら何でも揃う www.jtown.ca

3160 Steeles Ave. E., Markham L3R 4G9

営業時間 : 火・金 10:00~19:00
土 9:00~19:00
日 11:00~18:00
月曜定休

<p>平成マート</p> <p>日本食品 和風野菜 etc.</p> <p>905-305-0108</p>	<p>BAKERY 中むら</p> <p>パン、ケーキ</p> <p>905-477-3555</p>	<p>FaMu</p> <p>特約農場より直送の 安心なナチュラルミート、 和牛、豚豚、皮付チキン他</p> <p>905-475-5005</p>
<p>SAKANA-YA</p> <p>日本からの鮮魚直仕入 漬け魚 各種弁当</p> <p>647-688-4815</p>	<p>とら寿司</p> <p>日本人板前の 本格寿司! パティ・トレイも ございます。</p> <p>905-948-8047</p>	<p>J.B.C.</p> <p>Books & Videos 日本の雑誌、 ビデオ、音楽</p> <p>905-415-0611</p>
<p>Boutique Ai</p> <p>日本からの 婦人服と アクセサリー</p> <p>905-470-7772</p>	<p>SILK</p> <p>日本の雑貨一般</p> <p>905-258-0294</p>	<p>Japan Beauty IMAGES INC</p> <p>HL/EIDO トイレットリーグッズ</p> <p>905-943-9248</p>
<p>Cafe Green Tea</p> <p>カレー、うどんなどの 軽食喫茶</p> <p>905-470-0758</p>		<p>STUDIO T (美容室)</p> <p>予約優先制</p> <p>905-475-4247</p>

トロント新移住者協会へお願い

1970 年度、新移住者連絡協議会役員 岡 栄三



「トロント新移住者協会」が発足して、今年で「創立 35 周年」を迎える年に成りました。この長い間、協会に多大な尽力をされた役員の方々、又その裏方でボランティアとして、働いて来られた、多くの会員の皆さんに心から、お祝いの言葉を申し上げます。

今日トロントの日系社会で、日本語を母国語とした世代が少しずつ姿を消す中、「日本伝統文化の伝承」、「日系社会への貢献」、「日本語教育の育成」などの活動に、邁進しているトロント新移住者協会が日系社会から、大いなる期待を寄せられている事を、強く感じるのには私だけではないと思います。

さて、此の度 「トロント新移住者協会へのお願い」とは、4 4 年前の 1967 年から 1972 年までの約 5 年の間、活動を続けた当時の「新移住者の会」の歴史を、現在の「トロント新移住者協会」に是非、記録として残して欲しい所存で、この手紙を書いた次第です。

東京オリンピック開催の 2 年後、1966 年に戦後初めてカナダ政府が、技術移民(アンsponsor)の受け入れを開始しました。その当時、日本から技術移民として、渡加した人数は毎年 7 百人～8 百人以上と聞いております。

当時、新天地カナダに渡った我々移住者は必死にカナダの社会、生活、言葉に溶け込もうと努力しました。就職活動には、想像を絶する苦い経験も致しました。

そんな中、当時の新移住者の集まりである「新移住者連絡協議会」は、生活、就職の情報源と移住者間の親睦を果たし、暗中模索の移住者にとり、希望と安心を与えてくれた唯一の団体でした。当時「新移住者連絡協議会」の活動内容は、機関紙の発行、忘年会、ダンスパーティー、老人センター慰問、花嫁募集活動、日系団体への活動参加、そして発足したクラブは、コーラスクラブ、スキークラブ、ガンクラブ、ボーリングクラブ、株研究会、金型研究会、そして日系軟式野球リーグ(42 年後の現在も存続)等が存在しました。

この内の幾つかは、1976 年に発足した「トロント新移住者協会」に引き継がれております。

さて何故、今に成って大昔の事を掘り返す…と言われますでしょうが、戦後の「新移住者の歩んだ歴史」を、有りのままに残す意味も有り、そして当時若かった新移住者も、すでに 70 歳を超える人達も増え又病氣療養者も、あちら此方で聞くようになり、当時の記憶が少しずつ風化し始めて居る事も、他成りません。

そして、当時「新移住者連絡協議会」を自分の分身の如く、バックアップして下さった海外移住事業団初代所長である川路国三氏の恩恵に報いる為でも有ります。

この様な観点から、是非とも「トロント新移住者協会」に於かれまして、遠い昔に埋もれ掛けている 44 年前の「新移住者の会」の歩みの歴史を、議題として検討していただき記録として残していただけるよう心からお願い申し上げます。

下記に付け加えましたのは、1967 年から 1972 年までの「新移住者連絡協議会」の年表と、携った役員の方を列記致しました。なにぶん 40 年前の記録で、資料集めに限度もあり名前漏れ等有りましたら深くお詫び申し上げます。

- 1967 年 「JAPANESE IMMIGRANTS LIAISON COMMITTEE」 発足。
永井睦(幹事長)、山本コウ(副)、橋本好弘、佐々木ヒロシ、山本宗一郎、一木武俊、中津海フカシ、中林マサヒロ、キョセミエ、梅田ヒデコ、ツボタマサオ、タダクニオ、
- 68 年 此の年より「新移住者連絡協議会」に会名変更。
橋本好弘(幹事長)、山本宗一郎、一木武俊、中津海フカシ、山本コウ、宮原一雄、永井睦、

- 69 年 片山博(幹事長)、清水征夫(副)、羽田四郎、長田和徳、岸辺政行
70 年 久保総一(幹事長)、岡栄三(副)、井上義孝、宮原明子、岡本
71 年 小林史久(幹事長)、林(副)、勝山了
72 年 古城正人(幹事長)、鈴木正行(副)、支倉洋子、大神まり子、高井恭子、高橋重男、飯部英哉、篠崎勝也
1972 年 9 月、「新移住者連絡協議会」の総会にて、会の活動停止を決定

以上、此の度の資料集めに協力、尽力された宮島幸男(1972、79 年度、日系軟式野球会長)、鈴木正行(1972 年度、機関紙提供)、永井睦(1967 年度、資料提供)、吉崎妙子(1969～72 年、海外移住事業団勤務)、神山(前沖縄県人会会長)、一木武俊、清水征夫、勝山了、片山博、宮原一雄、井上義孝の各、皆々様に心から、お礼を申し上げます。

トロント新移住者協会・日系文化会館
共催



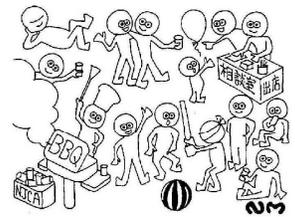
夏の親睦大 BBQ パーティ！ 8 月 28 日

トロント新移住者協会は、毎年恒例の盛大な BBQ パーティーを行います。

焼き肉、ゲーム、商品、ブースや売店が沢山。

移住者社会、日系社会の皆さん、夏の一日を仲間と一緒に楽しみましょう。

【場所】 日系文化会館
6 Garamond Court, Toronto
地下鉄 Eglinton 駅又は Broadview 駅から
100 番バスで Wynford Dr の「Gramond」で
下車。ドンバレー高速道路の西側。



【日時】 8 月 28 日(日) 11 時半～3 時
(食事 12～2 時。デザート 2 時～)

【参加費】 協会および会館会員
大人 \$8 家族 \$20 シニア・子供 \$5 幼児無料
非会員
大人 \$10 家族 \$25 シニア・子供 \$6 幼児無料

- ※家族 = 大人 2 人に子供 3 名まで、子供 = 6～12 歳
- ※当日受付で会員になれます。年会費 \$20(個人または家族)
- ※ビール有料、その他の食べ物・飲物は無料(売店販売は除く)
- ※ドア・プライズの賞品の寄付をお願いします。当日持ってきて下さい。

【ブース/売店】 (暫定) 日本語学校、クラブ紹介、散髪、指圧、寿司、まんじゅう、日本食料品各種、かき氷、書籍販売、日本玩具、クラフトなど、いろいろ

※ブース・売店申し込受付中。
連絡: 長石 416-258-4997 yoshi.nagaishi@gmail.com

BBQ 参加申込不要。問い合わせは:
川邊 905-791-2057 kawabeh@bell.net

【編集後記】

編集責任者 森貞一弘



今年の JCCC からボランティアへの感謝の日「ありがとうデー」は偶然、ワールドカップ女子サッカーの決勝戦の日だった。超大型画面に映し出された「なでしこ JAPAN」は輝いていた。数百人という小林ホールに集まった観客は熱かった。最後の PK が決まった時には、目頭が熱くなった。ほんとによくやった。日本人はどんな時でも、礼儀正しく、とてもねばり強いんだよ。少々のことでは、あきらめずに、がんばれるよ。がんばろう！日本。

次回にゆうすれたあ発送は 10 月初旬、カナダの短い夏、どのようにして過ごされたか等聞かせてください。 njcanews@live.jp